

『多元文化』第14号投稿規程

1. 内容：国際言語文化に関する未発表の研究論文。単著論文に限る。すでに口頭で発表し、その旨明記してあるものは審査対象となる。
2. 投稿資格者：(1) 国際言語文化研究科教員、(2) 国際言語文化研究科国際多元文化専攻大学院生、(3) 同修了生。
3. 言語：日本語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、朝鮮韓国語のいずれかとする。これ以外の言語での投稿を希望する場合は、編集委員に相談すること。
4. 枚数：日本語、中国語、朝鮮・韓国語の場合はA4版用紙を用い、12,000字(400x30)以内とする(注、文献を含む)。英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、ポルトガル語の場合は、A4版用紙にスペースを含めて6,000語以内とする(注、文献を含む)。横書き。
5. 体裁：注は本文の終わりにまとめること。(自動脚注及び文末脚注機能を使わないこと。)匿名審査を行うので、提出部数4部のうち1部にのみ、論文表題、投稿者氏名および字数を記した表紙を付し、すでに口頭発表した旨の注記や謝辞等も表紙に記載すること。他の3部は表紙を付さず、第1頁は表題と本文のみとし、以後も投稿者氏名を記さないこと。
6. 提出部数：論文は4部(コピー可)を提出すること。併せて、CDもしくはUSBも提出すること。原稿、CD、USBは返却しない。
7. 原稿の末尾に「文字数」と「フォント名」を明記すること。
8. 提出先：楊助教(楊助教のメールボックスに入れるか郵送すること。メールでの提出は受け付けない)。
9. 締切：9月6日(金)17時。楊助教のメールボックス必着。郵送の場合は同日の消印有効。
10. 注意事項
 - (1) CD、USBにはラベルを貼り、名前と論文のタイトルを明記すること。
 - (2) ファイルは必ずMSWordで作成すること。
 - (3) 和文論文では、コンマ(、)ではなく、読点(、)を使用すること。また、和文論文中の数字と英字はすべて半角を用いること。
 - (4) 論文中で中国語を使用する場合、文字コードは国家規格または国際規格に則したものを使用し、特定のアプリケーションに依存する独自コードを使用しないこと。例えば、「GB 中国明朝」や「OM 中国 GB 明朝」等のフォントは、それぞれ、Chinese

Writer、cWnn（「楽々中国語」に含まれる入力ソフト）という特定のアプリケーションの独自コードに対応したフォントなので使用しないこと。「SimSun」「GBMincho」「MingLiu」「Arial Unicode MS」等は使用できる。

- (5) 論文が採用された場合、論文の版下作成は原則として執筆者が行う。
- (6) 版下作成の際、内容の修正は認められない。
- (7) 採用された論文は、印刷版とは別にオンライン化する。

『多元文化』編集委員（長畑、丸尾、新井、楊）